



慈光

秋 号

- ①お知らせ
- ②秋の彼岸・報恩講
- ③寺院研修会終了
- ④住職のコラム

研修会

姜暁艶さんと記念写真

○北海道寺院研修会終了

去る八月二十五日 木、真宗木辺派北海道寺院研修会を慈光寺本堂で開催しました。たくさんの方にお詣りいただき、楽しいひとときを過ごしました。詳しくは③頁をご覧ください。

○秋季彼岸会永代経法要 報恩講 追申会のお知らせ

お詣りの日程他、**変則的に月詣りがお休み**になります。②頁に詳細をお知らせしています。よくご確認ください。

彼岸会 報恩講の志納をお願いいたします。また寺院維持年会費を分納の方は、合わせて納入をお願いいたします。郵便振替用紙を同封していますのでご利用ください。領収証は、振替用紙の払込証をもと返させていただきますが、必要な方はお寺にご連絡ください。なお、**納骨堂ご利用の方は**、右記事項に該当しませんので、納入は不要です。

○寺務室のお休みについて

寺務室業務のお休みについて詳細は、慈光寺のホームページ「掲示板」でお知らせいたします。節電のため、主に日曜日は寺務業務をお休みしています。すべてに電話に出られない場合もあるので、**急用の方は**、住職の携帯電話にかけてください。法務で電話に出られない時もあります。留守番電話にメッセージを入れてください。

② ○秋季彼岸会永代経法要のお知らせ

九月二十一日(水)～二十二日(木)

午後一時より 読経 法話

おつき(昼食)をご用意しています。お気軽にお召し上がりください。

納骨堂の詣り

十八日(日)～二十二日(木)午前九時～午後五時

時間外のお詣り希望の方は、恐れ入りますが、お寺に確認のお電話をいただければ幸いです。期間中は供花を用意しています。

なお、十九日(月)～二十一日(水)まで、住職が納骨堂で待機していますので、申経お勤めをあげることができます。この期間は月詣りはお休みとなります。

納骨仏壇はまだ余裕がございます。お考えの方は、この機会にお問い合わせください。

○親鸞聖人報恩講のお知らせ

十月二日(日)

午後一時半 大速夜 法話二席

午後五時 御伝記

午後五時半 初夜 法話一席

十月三日(月) 午前七時 晨朝 法話なし

午前十一時 結日中 法話一席

※布教使 山口県岩国市 月空寺 岸弘之師

西日のお昼と二日の夕方は食事をご用意しています。

報恩講に関わる月詣りのお休み

九月三十日(金) 報恩講準備のため

十月四日(火) 後片付けのため 祥月は詣ります

○追弔会 秋の法話会のお知らせ

十一月二日(水) 午後一時半 読経 法話

※大阪市 浄興寺 玉木興慈師 龍谷大学教授



○真宗木辺派北海道寺院研修会 終了の報告



去る、八月二十五日木、午前十時半より、真宗木辺派北海道寺院研修会が、慈光寺を会場として開催されました。

大会の午前中は、木辺派北海道寺院、小樽市潜龍寺の寺族、総代の方。新冠町法泉寺の寺族、総代の方。そして、慈光寺の役員、婦人会、檀信徒の方の参加者三〇名ほどで研修会を行いました。法泉寺前住職、北海道教務所長の前山法泉様より木辺派の現状についての報告がありました。小派である木辺派は、諸問題を抱えています。小派故に結束を高めようと提案がありました。法泉寺の総代様から、お寺に行くことの意味をもつと伝えないといけないという意見がありました。

③ 続いて、慈光寺住職から、木辺教学についての試論が提案

され、伝統的な真宗理解を重視しつつも、木辺派独自の教学についての発表がありました。

午後からは、函館市錦識寺のご住職も参加され、記念講演として、医学博士で二胡奏者の姜暁艶（ジャン・シヨウエン）さん、ピアニストの小畑貴裕さんをお招きして、コンサート&トークショーが行われ、音楽と念仏の教えを考えました。午後は、一般の方もご参加いただき、六〇名以上が姜さんと小畑さんのステージに魅了されました。心温まる二胡の音と、姜さんの語りに酔いしれていました。

十曲も演奏をしてくださった姜さん。また小畑さんは、この春まで放送されていたNHKの朝の連続ドラマ『朝が来た』のテーマソングの編曲、演奏をしていますが、サプライズも飛び出し、ご参加いただいた皆様は、終始、「こやかでした。」



住職さんにきいてみよう その36 住職の予定

今年もお盆詣りには、皆様のご理解を賜り、ありがとうございます。毎年、秋を迎えると、慈光寺は行事シーズンを迎えます。変則的に月詣りをお休みいただく場合があります。申し訳ありません。現在、確定している私の動向をお知らせします。

- ・ 十月二十四日～二十六日 龍谷大学出講
- ・ 十一月八日～十日 西本願寺の研修会参加
- ・ 十一月十一日～十二日 日高法泉寺報恩講出仕
- ・ 十一月二十四日～二十七日 木辺派本山錦織寺出仕

この他で、報恩講の準備、後片付けなどで、月詣りをお休みいただく日があります。皆様にはご迷惑をおかけします。どうかご理解をいただけますようお願いいたします。

お檀家様からご質問がありました。葬儀などの突発的な事態が起こった場合ですが、おつきあいのご住職様と連絡が取れるようにしております。すぐに戻ってこれられない状況なので、お檀家様と打ち合わせをした

後、ご住職様に私の方から連絡をして、対応をします。過去に数度、そのようなことがありました。お檀家様にはご不安をおかけしますが、お願いするご住職様は、私の信頼できる素晴らしい方ですので、ご安心ください。

前住職が亡くなって、来年で七回忌となります。その間、前住職の病が判明してから、一人で法務をしています。皆様には時間のご配慮をいただき、感謝をしています。若たちも大きくなり（廣顯高二。優顯中一）、お寺の中での仕事は、私を助けてくれます。開基百年記念事業では、私と坊守は、住職の往生もあり、様々なことがありました。それ故、私の頭の整理が追いつかず、度々お檀家様にご迷惑をおかけしました。現在も慌て者の私ですので、パニックをしていることもありますが、行事などが重なるこの時期、お檀家様には、確認のために、大変恐れ入りますが、お寺に確認をしていただけましたら幸いです。

「うっかり」をしでかす私ですので、疑って問い合わせてください。ご面倒をおかけします。さて、行事シーズンを乗り切りたいと思います。

大きな行事も終わりましたが、慈光寺にとっては、これから伝統の行事シーズンです。それが済みますと、あちこちお寺を出たり入ったり。身体は一つですから、適度に休みを取りながらも、気をつけます。今年の夏の疲れが出ないようにしないといけません…。がんばろう。合掌